

具体的な施策

項目	施策	具体的な内容	
発生抑制のための取り組み	可燃ごみ及び資源ごみの収集回数を見直します。	可燃ごみの収集回数を週 2 回に減らすことで、資源の収集回数を増やします。	新規
	小・中学生にごみに関する学習の機会を提供します。	学校との連携により、職員による出前講座の開催など、小・中学生がごみについて学ぶ機会を提供します。	継続
	家庭での生ごみの減量や堆肥化を推進します。	家庭から出る生ごみの堆肥化を、生ごみ処理容器購入補助金制度などを実施し、推進していきます。	継続
	マイバック持参運動を推進します。	レジ袋有料化参加店舗などと協働し、マイバック持参運動を推進します。	継続
	フリーマーケット等ごみにしない取り組みを進めます。	フリーマーケットの開催支援など、ごみにしない再使用の取り組みを進めます。	継続
	ごみ分別手引きやホームページで分別方法等の情報をわかりやすく提供します。	市民の意見等を取り入れ、ごみ分別手引きの改訂等を踏まえ、市民が見てわかりやすい情報を提供します。	継続
	事業系ごみについて広報やホームページで情報提供や啓発を実施します。	事業者が出すごみは、事業系ごみであることを認識してもらうため、情報提供や啓発を行います。	継続
	多量排出事業者に対して減量化を指導します。	多量排出事業者の実態を調査し、指導を行います。	継続
資源化のための取り組み	粗大ごみと資源ごみの持込拠点を整備し、運用方法を見直します。	美来の森を粗大ごみ専用として市民の持ち込みができる日を増やすとともに、資源ごみの持込拠点として巢南集積場を整備し、中央エコセンターの周知を図ります。	新規
	粗大ごみ区分の見直し	粗大ごみのうち小型家電品目の処理手数料について見直しを行います。	新規
	民間回収ルートによる資源化量を把握します。	市内に設置する古紙類等の無料回収所について、回収量の報告を求め、資源の量を把握します。	拡充
	子ども会・PTA や自治会などによる集団回収を促進します。	各種団体が実施する集団回収について奨励金の交付制度があることを周知し、集団回収を促進します。	継続

項目	施策	具体的な内容	
収集などの取り組み	地域と連携し、収集ステーションの配置や管理のあり方を検討します。	1箇所あたりの世帯数が多いステーションについて、分割するなどステーションの配置基準を検討します。	拡充
	空き容器回収機運用方法の見直し	資源ごみの収集回数を増加し、資源ごみの持込拠点が整備された段階で、空き容器回収機の運用方法を見直します。	拡充
	高齢者、障害者世帯に対するふれあい収集を検討します。	ステーションまでごみを排出できない高齢者などで、支援が必要な世帯の実態把握に努め、関係機関等調整します。	継続
	市の事務・事業でグリーン購入・契約を推進します。	市の行う事務・事業では、再生紙の利用などグリーン購入・物品の契約を行うとともに、プロポーザル方式の契約では環境に配慮した計画に対する考慮を行います。	継続